

Kyogen: A Performing Arts The Kyogen Theatre vol.8  
1. Sat - 8. Sat. November, 2014 Setagaya Public Theatre  
Mansaku Nomura Mansai Nomura

「歌仙」 能楽囃子  
「文山賊」 小舞  
「海道下り」 小舞  
「鏡冠者」 能楽囃子  
「萩大名」 能楽囃子  
「越後智」 祝言之式  
「能楽囃子」 祝言之式  
A プログラム  
B プログラム

パフォーミングアーツ  
舞台芸術  
としての  
狂言  
**狂言劇場**  
その八



主催 | 公益財団法人せたがや文化財団 | 企画制作 | 世田谷パブリックシアター | 制作協力 | 万作の会

野村万作 ● 野村萬斎

2014年11月1日(土)~11月8日(土)

世田谷パブリックシアター  
SETAGAYA PUBLIC THEATRE

舞台芸術としての  
狂言

# 狂言劇場 その八

狂言とは？演劇とは？

特設能舞台から問い直す

「狂言劇場」第8弾！

2004年から始まった「狂言劇場」も今回で10周年、シリーズ8回目。今回は未広がりの「八」にちなみ、祝言性と華やかさにあふれるプログラムをおとどけます。Aプログラムでは、秋の代表作『萩大名』、いとうせいこう作の『鏡冠者』、そして能や歌舞伎とは異なる狂言の舞踊性に満ちた『越後髯祝言之式』と見逃せない演目が揃いました。Bプログラムでは、小舞2曲と不条理な笑いを呼ぶ秀作『文山賊』、雅趣に富んだ稀曲『歌仙』を上演します。観る側の予想を鮮やかに裏切る演劇的趣向に富んだ狂言の側面を感じていただけます。現代の舞台芸術と狂言の根源的な近似値とは何か——三本の橋掛りを持つ世田谷パブリックシアター特設能舞台からその問いかけに迫ります。

出演——野村万作 野村萬齋 石田幸雄  
深田博治 高野和憲 月崎晴夫 ほか 万作の会

## A プログラム

### 「萩大名」はぎだいまじょう

大らかな大名と機知に富んだ太郎冠者が登場する、狂言の代表曲の一つ。田舎大名が太郎冠者の案内でとある庭園に萩の花見に出かけます。庭園の亭主は来客には必ず当座(＝即興)の和歌を所望する風流人。和歌の心得がない大名に太郎冠者はあの手この手で一首を教え込みますが、庭園の素晴らしさにはしゃぐ大名は、覆めるつもりが失言を連発。そして大名がいよいよ和歌を詠むことになり……。

大名——野村万作(11/1、3)  
太郎冠者——石田幸雄(11/1、3)  
中村修一(11/1、3)  
内藤 連(11/2、8)  
石田幸雄(11/2、8)  
高野和憲(11/1、3)  
月崎晴夫(11/8)

### 「鏡冠者」かがみかどや

2000年に初演し、05年の『狂言劇場その武』でも好評を博した、いとうせいこう作の新作狂言。主人が山伏から預かった鏡に御神酒を供えるよう太郎冠者に命じます。太郎冠者はついつい御神酒を飲み、酔っばらい、鏡に映る姿を面白がって舞ううちに主人が様子を見にきます。主人は鏡に映る者と太郎冠者の見分けがつかなくなり……。伝統的な狂言の発想や笑いを随所にかかしながら、鏡や仮面を巧みに用いて、「わたし」という存在の危うさをにじませます。

太郎冠者——野村萬齋  
主——石田幸雄(11/1、3)  
高野和憲(11/2、8)  
鏡冠者——深田博治

### 「越後髯 祝言之式」

髯入りきた花髯が酒宴で披露するめでたい獅子の舞でAプログラムを締めくくります。赤頭に赤い布で覆面をし、二枚の扇によって獅子の口を表現した独特の扮装に目を奪われます。藤田流の笛による狂言獅子と萬齋が創作したアクロバティックな獅子の舞にご期待ください。

髯——野村萬齋

## 2014年11月1日(土)～11月8日(土)

1	2	3	4	5	6	7	8
土	日	月・祝	火	水	木	金	土
15:00	14:00	18:00	休演日	19:00	19:00	14:00	14:00
A	A	A		B	B	B	A <sup>◎</sup>

\*開場は開演の30分前 \*未就学児童の入場はご遠慮ください  
◎視覚障害者のための舞台説明会(要事前申込)  
視覚に障害のある方を対象に舞台装置、俳優の衣裳など視覚に頼らなければわかりづらい場面を解説します。  
日時:11月8日(土)14時公演開場前 対象:「狂言劇場その八」のチケットをお持ちの方。  
お問合せ・申込:03-5432-1526 \*当日は上演中にイヤホンガイドによる解説も行います(機器貸出無料)。

●前売開始——2014年9月21日(日)

●チケット料金(全席指定・税込)——Aプロ・Bプロ共通

一般——S席7,200円/A席5,200円

劇場友の会——S席6,700円(前売のみ取扱)

アーツカード——S席7,000円(前売のみ取扱\*1)

高校生以下——一般料金の半額

(世田谷パブリックシアターチケットセンターのみ取扱・要年齢確認)

U24——一般料金の半額(要事前登録/枚数限定\*2)

\*1)アーツカード割引および先行予約は、世田谷区在住の方を対象にしたサービスです。特典をご利用いただくには事前登録が必要です。

詳細・お申込みは世田谷パブリックシアターチケットセンターまたはオンラインチケットへ。

\*2)U24に登録すると、18～24歳の方は世田谷パブリックシアター主催公演の前売チケットを一般料金の半額でお求めになれます。

詳細・お申込みは世田谷パブリックシアターオンラインチケットへ。

このサービスはトヨタ自動車株式会社が提供しています。

車椅子スペースのご案内(定員有・要予約)

料金——一般S席の10%割引・付添者は1名まで無料

申込——ご希望日の前日19時までに03-5432-1515(世田谷パブリックシアターチケットセンター)へ

託児サービス(定員有・要予約)

料金——2,000円

対象——生後6ヶ月から9歳未満(障害のあるお子様についてはご相談ください)

申込——ご希望日の3日前の正午までに03-5432-1526(世田谷パブリックシアター)へ

●チケット取扱

世田谷パブリックシアターチケットセンター  
03-5432-1515(10:00-19:00)

世田谷パブリックシアターオンラインチケット(要事前登録)  
パソコン <http://setagaya-pt.jp/>  
携帯 <http://setagaya-pt.jp/m/>

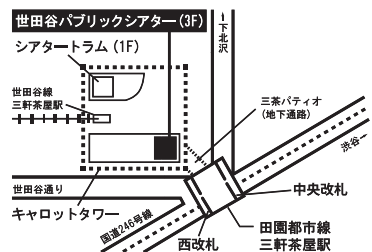
チケットぴあ  
0570-02-9999(Pコード438-908)  
<http://pia.jp/t/>(PC・携帯)

イープラス  
<http://eplus.jp/>(PC・携帯)

ローソンチケット  
0570-000-407(オペレーター)  
0570-084-003(Lコード38893)  
<http://l-tike.com/>(PC・携帯)

●お問合せ

世田谷パブリックシアターチケットセンター  
03-5432-1515(10:00～19:00)  
<http://setagaya-pt.jp/>



世田谷パブリックシアター / シアタートラム  
〒154-0004 東京都世田谷区太子堂 4-1-1 キャロットタワー  
Tel. 03-5432-1526  
三軒茶屋駅(東急田園都市線(渋谷より2駅・5分)・世田谷線)直結

## B プログラム

小舞

「海道下り」かいどうくんだり

「蟬」せみ

狂言の舞踊性が凝縮された小舞。今回は旅路の情景を描写する「海道下り」、敏捷な所作に富む「蟬」をご覧いただけます。舞はもろろん、時にテンポよく、時に「モラス」な内容の小舞も聞きどころです。

「海道下り」——月崎晴夫(11/5)

岡 聡史(11/6)

飯田 豪(11/7)

野村萬齋

### 「文山賊」ふみやまだち

悪党になりきれない山賊が登場し、狂言ならではの対話劇を堪能できる作品。狙った旅人を取り逃がして仲間割れをする二人の山賊。臆病な二人は果し合いをするが、何かと理由をつけて事が進まない。誰にも知られずに死ぬのは空しいからと、一人が書置きしておこうと提案します。早速文を書き始めますが……。山賊のやりとりにおかしみを感じながら、最後にはしんみりとさせる秀作です。

山賊——石田幸雄

深田博治

### 歌仙かせん

和泉流独自の大曲であり、上演する機会が少ないため必見の狂言。和歌の神である玉津島明神に奉納した給馬から6人の歌仙が動き出して月見の宴を始めます。はじめのうちは和氣あいあいとした雰囲気でしたが、和歌サークル内紅一点の絶世の美女・小野小町が飲んだ盃を回すうちに不穏な空気が漂いはじめ……。王朝風の装束に身を包んだ歌人たちの雅趣豊かな風情は見どころのひとつですが、争いの場面になると一転してスリリングな展開をみせるなど、重層的な味わいをもつ作品です。

柿本人丸——野村万作  
僧正遍照——野村萬齋  
参詣人——竹山悠樹  
在原業平——中村修一  
小野小町——高野和憲  
猿丸太夫——月崎晴夫  
清原元輔——内藤 連

\*都合により演者が変更になる場合がございます。

笛	藤田六郎兵衛(11/1、3)
篳子方	竹市学(11/2)
	栗林祐輔(11/5、7)
小鼓	大野誠(11/8)
大鼓	幸正昭
	亀井広忠(11/1、3、5、7)
	原岡一之(11/2、8)
太鼓	観世元伯(11/1、3、5、6)
	小寺真佐人(11/2、7、8)

◎芸術監督企画関連公演  
『MANSAI◎解体新書 その武拾四』  
日時——11月9日(日)18:00  
出演——野村萬齋  
大平貴之(プランネタリウム・クリエイター)  
料金(全席指定・税込)——4,000円  
前売開始——10月12日(日)

主催—公益財団法人せたがや文化財団 企画制作—世田谷パブリックシアター 後援—世田谷区  
制作協力—万作の会  
協賛—HI/EIDO TOYOTA 東邦ホールディングス株式会社 Bloomberg  
協力—東急電鉄  
平成26年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業  
宣伝美術—有山達也(アリヤマデザインズ) 宣伝写真—久家靖秀  
CG—矢部弘幸 ヘアメイク—廣瀬理美